科目	理学療法技術演習Ⅱ	担当	大古　拓史	履修学年	3年
時間数:90分×時限×16回(週1回)			履修区分:必修	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】
理学療法の代表的疾患である大腿骨近位部骨折患者，脳卒中片麻痺患者に対する理学療法の評価，目標設定と治療・運動療法計画立案までの一連の流れについて，より臨床的状況を勘案した形（模擬患者）での基本的な理学療法技術の実践力を学ぶ．既に学んだ各種疾患の評価，目標設定と治療計画，リスク管理，記録などを臨床状況に則した一連の流れとして，合理的かつ効率的に実行できるようになることが到達目標となる．
【履修注意】
提示された課題・症例についてロールプレイ等によるシミュレーション学習を中心とした授業である．そのため実技の可能な服装で参加すること，積極的なディスカッションが求められることの2点に留意して授業に臨むこと．
【評価方法】
模擬的理学療法実践能力・受講態度・出席状況（欠席1/3を超える場合は試験を受けることができない）・レポート課題・実技試験により評価する．
【試験について】
実技試験を実施する．
【予習・復習】
講義内で渡されたシミュレーション患者の疾患，障害について予習をしておくこと．その他理学療法評価の実技に関して予習しておくこと．
【教科書】
プリントを配布する．
【参考書】
特に定めない．
【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1・2	オリエンテーション	学生グループ分割・模擬患者割り当て・OSCEの流れ
3・4	大腿骨近位部骨折・実技1	情報収集・理学療法評価，実技；ROM Ex
5・6	大腿骨近位部骨折・実技2	統合と解釈・目標設定・治療計画立案，実技；各種筋力増強法
7・8	脳血管疾患1（急性期）・実技3	情報収集・理学療法評価，実技；各種装具装着法
9・10	脳血管疾患1（急性期）・実技4	統合と解釈・目標設定・治療計画立案，実技；歩行練習
11・12	脳血管疾患2（回復期）・実技5	情報収集・理学療法評価，実技；歩行介助レポート提出
13・14	脳血管疾患2（回復期）・実技6	統合と解釈・目標設定・治療計画立案，実技；ADL介助
15・16	実技試験	実技試験（実技課題習得度の確認）